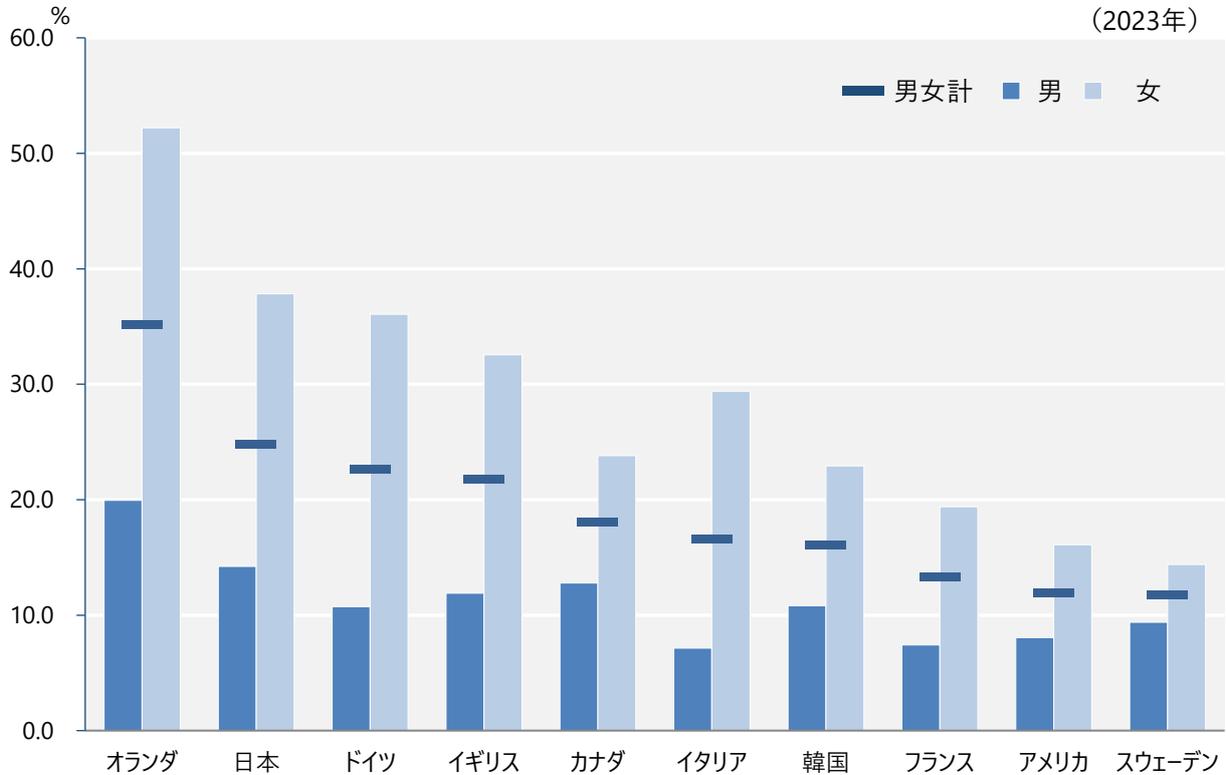


3-5 就業者に占める短時間労働者の割合



🔗 関連表 p.128 「第 3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合」

上のグラフは、通常の労働時間が週30時間未満の労働者を「短時間労働者」と定義し、就業者全体に占める割合（2023年）を各国別・男女別に示したものである。ただし、国際比較にあたっては、短時間労働者の待遇の違いなど制度面に注意する必要がある。

短時間労働者の割合が最も高いのはオランダ（35.2%）となっている。日本は24.8%、ドイツは22.6%、イギリスは21.8%などとなっている。男女別でみると、いずれの国でも、男性より女性における割合が高くなっている。女性における割合が最も高いのはオランダ（52.2%）である。日本は37.8%、ドイツは36.1%、イギリスは32.5%などとなっている。男性についてみると、オランダ（20.0%）が最も高く、日本は14.2%、カナダは12.8%、イギリスは11.9%などとなっている。